

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	たいようsun 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和8年 1 月 26 日		～ 令和8年 2 月 21 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年 2 月 24 日		～ 令和8年 3 月 13 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3 月 18 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの発達段階や特性に応じた個別支援計画をもとに安心して活動に参加できる環境作りを大切にしながら支援を行っている。	子どもの特性に合わせたかかわりや安心して過ごせる環境作り、個別支援と小集団活動を取り入れ子供の成長に応じた支援をしている。	個別支援計画に基づいた支援がより効果的に行えるように、モニタリングや振り返りを行い、子どもの成長や状況に応じて支援内容の見直しをしていく。
2	子どもの自己肯定感を大切にした支援 成功体験を積み重ねられるようなかかわりを大切に し、できたことや頑張っていることを認めている。	活動を通して「できた・楽しい」という気持ちを はぐくみ、自己肯定感の向上につなげている。	子どもが楽しみながら参加できる活動を増やし、 運動・創作社会性を育てる活動などいろいろなこ とが経験できるように工夫していく。
3	家族との連携を大切にしている。 送迎時や連絡ノートなどを通して保護者と情報共有 している。	家庭での様子や困りごとをその都度相談に応じてい る。 保護者が安心して相談できる関係づくりを大切に している。	保護者が安心して相談できる環境づくりを大切に している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	きょうだい向けのイベントや交流機会は設けていな い。	保護者支援の時など、年下のきょうだいの参加はあ るが、交流までできていない。	利用児を含むきょうだいも交流できるイベント等 を計画を図る。
2	事業所での活動内容をあらかじめ、伝え何をするか を伝えきれていない。	その日の活動内容は口頭や連絡ノートなどで伝えて いるが、前もって活動内容を伝えきれていない。	毎月、活動内容をあらかじめ手紙等で知らせてい きたい。
3	保育園・幼稚園・こども園や関係機関とは、面識は あるが十分な情報交換の機会を持ってない。	連携について時間の調整の確保が難しい。	保育園・幼稚園・こども園や関係機関との連携を 図り、児童取り巻く環境全体での支援につなげて いきたい。